

第20回 群青の風

第9回 i-ハーベスト発表会その後の探究活動 ～ゴキブリで飢餓を解決できるか～

9月12日(木)に行われたi-ハーベスト発表会で最優秀賞となった2年石渡光さんに話を伺いました。

昆虫食は国連食糧農業機関(FAO)が2013年に出した報告書から国際的な関心を集めるきっかけになりました。地球の食糧問題の解決手段のひとつとして着目されています。

「最優秀賞」を受賞した感想を聞かせてください。

1年生の時にi-ハーベスト発表会で先輩たちの発表を見て、私もステージに立ちたいと思いました。ですから発表者に選ばれたことが嬉しかったし、賞もとれてとても嬉しかったです。

アルゼンチンモリゴキブリは、今、どうしているのですか？

正月で研究は終了したので、i-ハーベスト発表会后、知人に譲りました。今は、知人が飼っています。渡す前から知人は飼っていました。

アルゼンチンモリゴキブリ(通称:デュビア)を知ったきっかけはどんなことだったのですか？



部活動(科学部)に入って、生物か化学のどちらが好きか聞かれました。私は生物と答えました。そして生物中心の研究をする先輩に付きました。その先輩に話を聞き、せっかくなので飼おうかと思いました。ちょうど1年生の夏頃の総合的な探究の時間(本校では光陵ユニバース:KUという。)のテーマ決めの時でした。そうしたら、知人もたまたま飼っていました。

KUの研究にこれだけ前向きに取り組んだのはなぜだったのでしょうか？

先ほどと同じで先輩の発表を見てi-ハーベスト発表会に出たいと思ったことと、アルゼンチンモリゴキブリを見せたら面白いのではないかと思ったからです。

私はしばしば何かに没頭することがあります。小学生の頃から本をよく読んでいました。また、生き物は何でも好きだったので、それに関する本もよく読みました。サメやエイと言った軟骨魚類の本が特に好みだったように思います。

ゴキブリだけでなく、魚も飼育をしたことがあります。

小さい頃から釣りをやっていて、いろいろな魚が釣れました。印象に残っているのは、相模湾に出て釣りをした際に、「シロギス」が釣れた時のことです。それまで図鑑で見ていたものは白地の腹に、赤地の背だったのですが、実際のそれは体表が光の具合によって青やシルバーに輝いていたため、「美しいな」と感じました。以来、シロギスは綺麗な魚だと考えるようになり、好きな魚の一つになりました。また、サケという魚も綺麗な魚だと思っています。こちらは釣り上げたことはないのですが、図鑑で結婚色というものが出たサケを目にして好きになりました。結婚色というのは、生物が繁殖する際に、パートナーに自らをアピールするために変化させる体色のことです。サケは、普段の銀色の体色が苔のような緑色になり、赤色の斑模様が現れます。

研究活動で印象に残った出来事は何かありましたか？

デュビアの成長が遅くて、全然育たなかったことです。生態について把握をしていませんでした。もっと調べておけばよかったと思いました。

育たなかった原因は、餌をあげすぎたことがありました。餌に飽きて食べなくなりました。空腹を感じさせるような期間がありませんでした。また、空間が広すぎました。デュビアは森の木に密集しています。大学生の先輩に育たないことを相談したら、アドバイスをもらい、条件の改善に至りました。そして、もう一度考えるきっかけになりました。



i-ハーベスト発表会に参加をして、自分の中で何か変わったところはありますか？

明確にはありませんが、1600人を前に話すという経験を通して、人前で話すときに自信を持つようになりました。「これはあの時と比べると」と思います。

テレビ神奈川で当日の様子が放映されましたが、その中で自分が優等生のように評価されていて驚きました。家族は1年生の秋まではゴキブリを飼育していること、ましてや食べていることを知りませんでした。研究内容を話したのは2年生の文化祭がきっかけです。全貌が明らかになりました。テレビ神奈川で放送された時は、テレビに出ているねと学校内外の様々な人から言われました。

これから取り組んでみたい研究はどんなことですか？

今は日本史に興味があります。自分で「もしかしたらこうだった」と妄想しているのが楽しいです。実は、邪馬台国がどこにあるのかという命題に取り組みたいです。日本の歴史に関する論文を読みました。専門的で分かりにくいところがありましたが、自分なりに読みました。

当時の社会の在り方、パワーバランスが載っていてそれを論拠にするとよいと思ったりもしました。

本は自分で見つけました。週に1～2回本屋には行きます。小さいころから読書好きです。

また、近頃は上野の東京国立博物館や鎌倉の寺院などに足繁く通い、教科書や本に載っている物を実際に見たりもしています。夏には京都へ一人旅に行きました。それらを通じ、日本史への意欲はますます増大しています。

今後のKUの研究活動をどう計画していますか？

計測できるデュビアが今はいません。どこの国でどんな昆虫を食べているのかについての先行研究をより深く調べたいと思います。昆虫食は今より普及するでしょう。ネガティブなイメージを払拭して欲しいと思っています。

分かりました。どうもありがとうございました。デュビアだけでなく、他のことにも興味をもち、楽しんで探究活動をしているということが分かりました。とても感性の豊かな石渡さん、これからも興味をもったことを追究してください。

教頭（野中 幹子）によりお送りしております。